'08.7
毎月１回20日発行　定価　１部60円
発行所　兵庫県商工会連合会
発行人　会長　木南岩男
神戸市中央区花隈町6の19
☎078(371)1261(代)〒650-0013
http://www.shokoren.or.jp/
編集人　岡田奈良夫
印刷所　大和出版印刷株式会社
会員の購読料は会費に含んでおります
第　611　号

兵庫県商工連会報

（題字は井戸知事）

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry

Contents

■県連合会Letter　2～3頁
・第四十七回通常総会
・黄綬褒章受章
・県功労者表彰受賞
・県青連通常総会
・県女性連通常総会

■商工会Letter　4～5頁
・「景観城崎るーる」作成（城崎町商工会）
・いなみの魅力再発見！パンフレット作成（稲美町商工会）
・篠山城のハス再生に向けて（篠山市青年部篠山支部）
・特産品「くまの芋」の焼酎販売（温泉町商工会）

■特集　6頁
・地域力連携拠点事業について

第四十七回通常総会開催

平成二十年五月二十九日、神戸市・ホテル北野プラザ六甲荘において、第四十七回通常総会が開催された。

県知事・井戸敏三氏をはじめ、近畿経済産業局産業部長・赤井誠次氏など多数の来賓を迎え、平成十九年度の事業報告並びに収支決算など四つの議案を審議、いずれも原案通り可決された。

平成二十年度は「都市に負けない地域の再生を目指して」をスローガンに、地域経済活性化に向けた取組みを積極的に行っていく。

（詳細については二項）

平成十九年度収支決算等四議案を審議
～第四十七回通常総会～

県商工会連合会は、五月二十九日、神戸市のホテル北野プラザ六甲荘で平成二十年度「第四十七回通常総会」を開催した。

冒頭、木南県連会長より、「商工会を取巻く環境は厳しいが、今が変革の時期。活力ある地域づくり、企業づくりを目指し、共に頑張っていこう」と挨拶があった。資格審査報告後、丹波市商工会の村上会長を議長に選出し、次の四議案について審議、いずれも原案通り承認された。

㈠平成十九年度事業報告並びに収支決算承認について
㈡平成十九年度特別会計収支決算承認について
㈢記帳事務機械化手数料徴収規約の一部改正について
㈣役員の補充選任について

第三号議案では、平成二十年度より、全国商工会連合会が推進する「ネットｄｅ記帳」が導入されることから、「記帳機械化手数料徴収規約」の一部改正を提案、承認された。

また、第四号議案では、辞任届が提出された副会長の壺坂正昭氏（夢前町）、理事の北川啓次郎氏（丹波市）二名の補充選任が行われ、副会長に井上博文氏（夢前町）、理事に村上康充氏（丹波市）が選任された。なお、任期は前任者残存期間の平成二十一年度通常総会までとなる。

議案審議の終了後、臨席した多数の来賓を代表し、県知事・井戸敏三氏、近畿経済産業局産業部長・赤井誠次氏、県議会議長・山口信行氏、県共済理事長・田中正巳氏より、それぞれ祝辞があった。その後引続き交歓会が行われ、参加者による活発な意見交換がされた。

▲挨拶をする木南会長

▲祝辞を述べる近畿経済産業局産業部長・赤井氏

新会長紹介

県下四十二商工会の平成二十年度通常総(代)会が、五月中旬から下旬にかけてそれぞれ開催され、次の二名の方が新しく商工会長に就任されました。

①生年月日
②事業所名並びに役職名
③商工会での前職
④主な公職
⑤趣味

夢前町商工会

井上（いのうえ） 博文（ひろふみ） 氏

①昭和29年1月1日生
②井上労務管理事務所　代表者
③副会長
④姫路市夢前地域審議会委員
⑤ゴルフ

養父市商工会

神田（かんだ） 武（たけし） 氏

①昭和17年5月26日生
②株式会社但馬近畿工業　代表取締役会長
③副会長
④社団法人 兵庫県空調衛生工業協会　会長
　社団法人 日本空調衛生工業協会　理事
　社団法人 和田山納税協会　副会長
⑤スポーツ(マラソン)、スポーツ観戦、ゴルフ

主な行事予定

7月のこよみ

3日(木) 商工会基礎研修会（神戸市）
11日(金) 第2回理事会
15日(火) 商工会理事研修会
17日(木)～18日(金) 商工会新任管理者研修会
23日(水)～24日(木) 商工会管理者研修会（事務局連絡会）

8月のこよみ

7日(木)～8日(金) 商工会応用研修会
28日(木)～29日(金) 商工会応用研修会

尼崎信用金庫
淡路信用金庫
神戸信用金庫
但馬信用金庫
但陽信用金庫
中兵庫信用金庫
西兵庫信用金庫
日新信用金庫
播州信用金庫
姫路信用金庫
兵庫信用金庫
（アイウエオ順）

「しんきんキャッシュカード」を利用すれば、全国にある信用金庫ATMでの入出金手数料が無料です。出先で、旅先でご利用下さい。
（但し、土日・祝日・所定時間外等及び一部のATMは除きます）

祝　栄えある褒章受章

平成二十年春の黄綬褒章が発表され、兵庫県では三十四名と二団体が受章、商工会関係者からは大橋直人氏（県連合会副会長・出石町商工会会長）が受章されました。

大橋　直人　氏
（県連合会副会長･出石町商工会会長）

「県功労者」商工会より4名が受賞

兵庫県は二日、二〇〇八年の県功労者として表彰する二百二十一人（二十部門）を発表。商工会関係者では商工功労、女性・消費生活功労を受賞されました。

商工功労

阿野　孝好　氏
（和田山町商工会会長）

細田　淳　氏
（加美町商工会会長）

女性・消費生活功労

中津　八重子　氏
（県女性部連合会理事）

古川　晃　氏
（佐用町商工会副会長）

地域中小企業の活力増進を目指して

県青年部連合会（森本匡俊会長）は、五月八日、ホテル北野プラザ六甲荘において、第四十一回通常総会を開催。県知事・井戸敏三氏をはじめ、多数の来賓を迎え四議案を審議、いずれも原案どおり可決した。第四号議案・県青連役員の補充選任では、副会長六名、常任理事一名、理事九名、監事二名が選任された。また、総会後に県青連組織運営研究会を開催（座長・県青連森本匡会長）、今年度統一事業である「労働環境対策事業」の概要等を説明。今後は、商工会のコーディネート機能を発揮し、地域中小企業の人材確保と職場定着の促進、勤労者福祉の向上を図る事業等を、各地区青年部が実行部隊となり共同で取組むこととなった。

▲感謝状を受け取る仁部相談役（右）　森本会長（左）

県下統一事業
『がんばってます ひょうご女組』

県女性部連合会（行幸子会長）は、五月十二日、ホテル北野プラザ六甲荘において、第四十一回通常総会を開催。県知事・井戸敏三氏をはじめ、多数の来賓を迎え、四議案を審議、いずれも原案どおり可決した。

また、今年度県下統一事業として『がんばってます、ひょうご女組』と題し、観光をテーマに部員一人一人にスポットをあてた事業を展開することを発表、理解と協力を求めた。

また、総会に先立ち、第一回幹部講習会を開催。香美町商工会女性部の山本百合子氏が発表した『女性部活動に参加して・～なぜ私がこんなに輝けているのか～』が最優秀賞に輝いた。同氏は、県の代表として、九月十六日に滋賀県長浜市で開催される近畿大会に出場する。

▲主張発表する山本氏

あなたの“信用”が
さらにアップ
兵庫県信用保証協会
神戸市中央区浪花町62番地の1
☎ 078(393)3900（代表）

「あなたのまちの会員企業」をご紹介ください！

商工連会報では、「あなたのまちの会員企業」を紹介していきます。

こだわりの商品や技術を持った会員さん、地元への熱い思いを持った会員さんの取組み・頑張り等を、県下に広くPRいたします。

また、紹介する企業も併せて募集いたします。

詳細は下記までお問合せください。

兵庫県商工会連合会　事業部指導課
TEL（078）371－1361（直通）

歴史ある景観を守るため 景観城崎るーる」作成
～城崎町商工会～

城崎町商工会(出口弘義会長)では、地域活力増進事業の一環として、『景観城崎るーる』という景観パンフレットを発行し、歴史ある景観を保全する取組みを行なっている。

このパンフレットは、城崎の風情ある温泉街の町並みや景観を守り継承するための基本的方針を打ち出したもので、建物のデザインや高さ、屋根や商店の看板などについて、周囲の自然との調和を重視した工夫を紹介している。

城崎温泉は古い時代から「但馬の湯」として古い歴史があり、たくさんの文人や墨客達に愛された温泉地として全国的にも知られている。

大正十四年の「北但大震災」で温泉街がほぼ全焼したという教訓を活かし、地域住民が協力して震災復興計画に取り組んできた。そして、災害に強いまちづくり計画が進められる中で、大谿川の護岸・太鼓橋・柳並木・桜並木等の城崎温泉特有の風情ある景観が築かれていった。

商工会では、今後も温泉街の景観保全について地域全体を巻き込んで取組んでいく。

稲美町を知らない とは言わせない！
～稲美町商工会～

稲美町商工会(大西壯司会長)の一店(点)逸品運動推進委員会では、地域活力増進事業の一環として、播磨地域以外の人からの「稲美町ってどこにあるの、どんなところ?」という疑問に応えるため、町の魅力を紹介する冊子を作成した。

稲美町は、「神戸市の隣、明石海峡大橋の近く」などと説明をせざるを得ず、町の特色について、なかなか伝えられていなかった。

この冊子は、稲美町の特色である八十九カ所のため池を地図で説明しているほか、淡山疏水事業や、国指定史跡に認定されている播州葡萄園跡などを解説。メロン、トマトといった農作物の特産品と、臨海部の大企業に納品している部品やオリジナル製品を製造する企業なども紹介している。

稲美町は、先人の苦労と多くの水脈により、良質の水に恵まれている。また、多くの食品製造業や、日本で初めてウエットスーツを製造した会社などの隠れた実力派企業が存在する。

稲美町商工会は、冊子を全国二千ヵ所の商工会に送付する予定で、稲美町へ来訪を促す「どうぞツアー」も計画している。

県下商工会イベント案内

イベント名	開催日	概要	問合せ先
第３回淡路市夏まつり	7月20日(日)	商工会青年部による「真夏の雪祭り」、「移動動物園」、自衛隊・消防・警察の特殊車両展示等	淡路市夏まつり実行委員会　TEL0799−64−0001 主幹団体：淡路市、淡路市商工会
カブトムシとあそぼう	7月21日(月・祝)	自分の手で触ってみようカブトムシとのふれあい体験、カブトムシ相撲大会、カブトムシのつかみ取り等	吉川町商工会青年部(0794−72−1406)
日高夏まつり	7月23日(水)、24(木)	1,000発の打ち上げ花火が夜空を彩る。ビアガーデンや屋台、ステージショー等盛りだくさん	日高夏まつり実行委員会(日高町商工会) TEL0796−42−1251
香美町海の祭典 香住ふるさとまつり会場花火大会	7月26日(土)	花火打ち上げ総数約2,000発 海上花火大会としては県下4大花火大会の1つ (現在、花火大会の募金を行っております。詳細は右まで)	香美町商工会 TEL0796−36−0123
三田工房市	7月29日(火)・30日(水) 31日(木)	全国各産地の陶芸作家、窯元が集う作品展示・即売会。 市街地商店街で使用できるクーポン券の配布もあり。	三田市商工会(TEL079−563−4455)

－中小企業と共に45年－
商工会の共済事業として会員の福利厚生をお手伝いする
県 共 済
兵庫県火災共済協同組合
兵庫県共済協同組合
神戸市中央区中山手通７丁目28番33号（県立産業会館内）
☎ 078-361-8080(代)　Fax 078-371-6757
ホームページ　www.Ken-Kyosai.or.jp

始めませんか ～新しい環境貢献～
ひょうご「企業の森づくり」
環境への貢献のため、森林整備をお考えの企業や団体等の皆様のお手伝いをします。
●活動フィールドの斡旋
●森林整備についての助言・提案・技術指導
●施業委託先の紹介
◆お問い合わせは◆
(社)兵庫県緑化推進協会
〒650-0012
神戸市中央区北長狭通5-5-18　県林業会館内
TEL 078-341-4070／FAX 078-341-4071
兵庫県農政環境部 環境創造局 豊かな森づくり課
〒650-8567
神戸市中央区下山手通5-10-1
TEL 078-362-3144／FAX 078-362-3954

あの景色をもう一度！ ハス再生事業を実施

～篠山市青年部篠山支部～

篠山市商工会青年部篠山支部（松浦雅彦支部長）では、平成十八年に絶滅した、篠山城南濠のハス再生に取組んでいる。

濠に埋没していた種子を採取し、その種子を部員がそれぞれ持ち帰り水につけて見守ること約二週間、見事発芽に成功。小さなハスを濠に戻すことができた。

絶滅した原因は、ヌートリア等の小動物による被害や絶滅の周期に当たったなど様々な説が考えられ特定には至らなかったが、濠に戻す際には小動物の被害も考慮し、苗を保護する為の柵（二メートル四方）を部員の手で製作し、苗と一緒に濠に沈めた。

来年築城四〇〇年を迎える篠山城にもう一度ハスを咲かせて篠山の名所になるように今後は成長を見守っていく。

▲ハス種を採取している青年部員

特産品「くまの芋」の焼酎販売

～温泉町商工会～

新温泉町特産品の山芋「くまの芋」を原料に、地焼酎「熊の湯たんぽ」が開発された。

「くまの芋」は、二〇年以上前から同町熊谷地区で栽培されてきたが、寒さに弱く保存に向かないため、晩秋から冬にかけての短期間に、すりおろして食べる生食用としてのみ販売されていた。

三年前より、「温泉町特産振興会」と商工会が協力し、加工品にするための研究を開始。試作品の仕上がりをみて本格生産に乗り出した。

昨年の春、芋の生産者に生産委託、秋の収穫を待って仕込みに入り、原料の「くまの芋」一二〇〇キロから七二〇ミリリットル入り二四〇〇本分が完成した。現在、湯村温泉の土産物店で販売している。（一本　一七八〇円）

ちなみに、「熊の湯たんぽ」という名称は、芋の生産地の〝熊〟と、湯村温泉で宿泊客に貸し出している〝湯たんぽ〟をつなげて考案された。

今年は更に増産するため作付面積を増やしている。

最低賃金法が変わります

最低賃金法の決定基準や罰則の上限額、派遣労働者への適用関係などについて大きな改正が行われます。（平成20年7月1日施行）

改正の概要

1．地域別最低賃金はこうなります

・地域別最低賃金を決定する場合には、労働者が健康で文化的な最低限度の生活を営むことが出来るよう、生活保護との整合性にも配慮することとなります。具体的な金額は、都道府県ごとに決定されます。

・地域別最低賃金の不払の場合の罰則額の上限が 2万円から50万円に引き上げられます。

2．産業別最低賃金はこうなります

・産業別最低賃金については、不払については、最低賃金法の罰則は適用されなくなり、労働基準法の賃金の全額払違反の罰則（罰則の上限額 30 万円）が適用されます。

3．適用除外規定が見直されます

・障害により著しく労働能力の低い者等に関する適用除外が廃止され、最低賃金の減額特例が新設されます。

4．派遣労働者の適用最低賃金が変わります

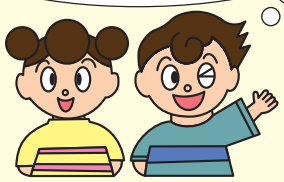
・派遣労働者については、派遣先の地域（産業）の最低賃金が適用されます。

5．最低賃金額の表示が時間額のみとなります

・時間額、日額、週額又は月額で定めることとされていた最低賃金法の表示単位が時間額のみになります。

厚生労働省ＨＰ　http://www.mhlw.go.jp/

パートタイマーさんにも
退職金始めませんか？



パートタイマーの方のために

☆特例掛金月額（2,000円、3,000円、4,000円）が用意されております。
☆国の新規加入助成金の上乗せがあります。

中退共制度は
中小企業で働く従業員のための
外部積立型の国の退職金制度です

●くわしくはホームページで
http://chutaikyo.taisyokukin.go.jp

独立行政法人 勤労者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部
略称：中退共（ちゅうたいきょう）

〒105-8077 東京都港区芝公園1-7-6
TEL(03)3436-0151(代表) FAX(03)3436-0400

●●●●地域力連携拠点・事業承継センター設置●●●●

五月三十日、県商工会連合会は、国からの受託事業である「地域力連携拠点事業」の実施にあたり、開所式を開催した。

同事業は、地域において実績のある支援者を「応援コーディネーター」として中小企業支援機関等に配置し、「地域力連携拠点」として、中小企業が直面する課題に対して、きめ細かな支援を行うもの。

商工会関係では、県連合会と南あわじ市商工会が選定された。また、県連合会は事業承継支援センターとしての役割も担う。

開所式では、志智宣夫副会長（南あわじ市商工会会長）が「この事業を通じて、中小企業等の経営基盤の強化を図るとともに、支援機関としての機能強化を図りたい」と挨拶。その後、来賓を代表して近畿経済産業局赤井誠次産業部長から「この事業では、地域のやる気のある企業経営者を国、自治体の行政資源を総動員して応援していく」と挨拶があった。

続いて、甘利経済産業大臣のビデオメッセージや応援コーディネーターの紹介が行われた後、一階玄関ホールで看板設置を行った。

●グループ機関（拠点）

・南あわじ市商工会　所在地：南あわじ市市市299-2　連絡先：0799-42-4721

●支援機関

・篠山市商工会　所在地：篠山市二階町58-2　連絡先：079-554-1678

・加東市商工会　所在地：加東市社 717-1　連絡先：0795-42-0253

・たつの市商工会　所在地：たつの市揖保川町原849-37　連絡先：0791-72-7550

・県連但馬支所　所在地：朝来市和田山町和田山284-1　連絡先：079-670-0111

地域力連携拠点・事業承継センター事業内容

◆商工会・商工会議所
①経済団体としての組織力
③事業により蓄積した経営ノウハウ
④中小企業情報の蓄積

活用

◆県連合会：統括応援コーディネーター
↑↓
（情報共有：連絡会議等）
↑↓
◆グループ機関・支援機関；応援コーディネーター

支援

◆小規模事業者の課題発掘、課題解決に対応
①経営力の向上支援
②創業・再チャレンジ支援
③事業承継支援

連携

◆パートナー機関
ひょうご産業活性化センター、兵庫県立大学、但馬銀行、但馬信用金庫
◆他の地域力連携拠点

事業概要

(1)経営力の向上事業

①ＩＴを活用した経営管理

全国連、県連で推進している商工業者向け経理システム、ネットｄｅ記帳を推進するとともに、県下商工会職員のネットワークを構築することで企業情報を収集します（データベース化）。また、応援コーディネーターによる巡回・窓口相談により、小規模事業者の経営課題把握や経営計画の策定について支援します。

②経営革新

小規模事業者等の新事業展開に向けた計画策定・実施・検証を支援し、経営革新計画の承認等に繋げ、着実に実施する体制の構築を支援します。

③地域資源活用

商工会地域の特徴的な資材や技術（地域資源）の活用によって、小規模事業者等の新商品開発や販路開拓、ブランド力構築等を支援します。

④その他

知財経営、経営革新や新連携、地域資源活用プログラム、農商工連携の体制づくりを行い、小規模事業者支援に繋げていきます。また、小規模事業者の経営力向上に繋げるため、ひょうご産業活性化センター（中小企業支援ネットひょうご）や兵庫県立大学、地元金融機関等とも連携した専門家派遣等を行います。

(2)創業・再チャレンジ支援事業

創業者や起業を目指す者を支援するため、応援コーディネーターや専門家等が創業に必要な知識・ノウハウ等を付与するとともに、ビジネスプランのブラシュアップ等を行います。また、事業継続の見通しがつかない事業者の事業転換や廃業経験者の再創業を支援します。

(3)事業承継支援事業

県連合会に事業承継支援センターを設置し、職員による巡回指導時にアンケート調査を実施するなどして企業情報を収集します。また、後継者不足による廃業やそれに伴う雇用・技術の喪失を防ぐためのセミナーを開催します。

担当課
事業部・経営支援課
電　話：０７８（３７１）１３６２
Ｆａｘ：０７８（３４１）４４５２